



# 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 北國銀行  
 コード番号 8363 URL <http://www.hokkokubank.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 安宅 建樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員総合企画部長 (氏名) 中村 和哉  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 076-263-1111

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	17,194	△6.3	3,551	△24.1	1,887	△24.4
25年3月期第1四半期	18,359	2.8	4,685	11.7	2,498	5.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △1,084百万円 (△14.3%) 25年3月期第1四半期 △948百万円 (△146.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.98	5.97
25年3月期第1四半期	7.65	7.63

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,493,017	215,241	5.9
25年3月期	3,487,404	218,492	6.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 207,457百万円 25年3月期 210,904百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 26年3月期(予想)の第2四半期配当金および期末配当金には、創立70周年記念配当をそれぞれ50銭含んでおります。

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	△16.7	6,000	△43.7	3,100	△44.9	9.87
通期	62,000	△10.5	12,000	△15.0	6,200	△11.3	19.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	317,401,974 株	25年3月期	317,401,974 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,414,489 株	25年3月期	610,467 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	315,373,997 株	25年3月期1Q	326,549,289 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。  
なお、当第1四半期決算短信の開示時点において、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
3. 四半期連結財務諸表等	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 7
4. 平成26年3月期第1四半期 決算説明資料	P. 8
(1) 平成26年3月期第1四半期損益の概況(単体)	P. 8
(2) 金融再生法開示債権(単体)	P. 9
(3) 時価のある有価証券の評価差額(単体)	P. 9
(4) 預金・貸出金等の残高(単体、未残)	P. 10
(5) 自己資本比率(国内基準)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結経営成績につきましては、経常収益は、有価証券利息配当金が増加しましたが、貸出金利息が減少したことにより、前年同期比 11 億 64 百万円減少し 171 億 94 百万円となりました。また、経常費用は預金利回り低下などにより資金調達費用が減少したことにより、前年同期比 30 百万円減少し 136 億 43 百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比 11 億 33 百万円減少し 35 億 51 百万円となりました。四半期純利益は、前年同期比 6 億 11 百万円減少し 18 億 87 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

連結財政状態につきましては、総資産 3 兆 4,930 億円、純資産 2,152 億円となりました。主要勘定では、預金（譲渡性預金含む）は前年度末比 292 億円増加の 3 兆 1,809 億円となりました。貸出金は前年度末比 292 億円減少の 2 兆 2,937 億円、有価証券は前年度末比 465 億円増加の 9,328 億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 26 年 3 月期の連結業績予想は、平成 25 年 5 月 10 日公表の数値から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表等

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	77,445	44,672
コールローン及び買入手形	100,846	120,000
買入金銭債権	5,601	4,529
商品有価証券	182	416
金銭の信託	25,070	25,007
有価証券	886,272	932,828
貸出金	2,322,999	2,293,790
外国為替	2,469	2,520
リース債権及びリース投資資産	21,495	21,538
その他資産	12,870	13,221
有形固定資産	33,551	35,861
無形固定資産	3,834	4,190
繰延税金資産	5,780	8,151
支払承諾見返	18,449	17,611
貸倒引当金	△29,465	△31,319
資産の部合計	3,487,404	3,493,017
<b>負債の部</b>		
預金	3,011,013	3,034,726
譲渡性預金	140,699	146,193
コールマネー及び売渡手形	195	2,348
債券貸借取引受入担保金	35,416	34,637
借入金	27,555	7,686
外国為替	53	89
その他負債	23,186	22,798
賞与引当金	807	—
退職給付引当金	7,493	7,670
役員退職慰労引当金	55	41
睡眠預金払戻損失引当金	220	220
利息返還損失引当金	156	156
ポイント引当金	253	247
再評価に係る繰延税金負債	3,354	3,346
支払承諾	18,449	17,611
負債の部合計	3,268,911	3,277,775

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
資本金	26,673	26,673
資本剰余金	11,289	11,289
利益剰余金	137,510	138,462
自己株式	△197	△1,417
株主資本合計	175,276	175,009
その他有価証券評価差額金	31,783	28,577
繰延ヘッジ損益	△399	△358
土地再評価差額金	4,243	4,229
その他の包括利益累計額合計	35,627	32,448
新株予約権	185	198
少数株主持分	7,403	7,585
純資産の部合計	218,492	215,241
負債及び純資産の部合計	3,487,404	3,493,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
経常収益	18,359	17,194
資金運用収益	11,446	11,006
(うち貸出金利息)	8,452	7,937
(うち有価証券利息配当金)	2,932	3,038
役務取引等収益	2,524	2,689
その他業務収益	3,395	2,413
その他経常収益	994	1,084
経常費用	13,673	13,643
資金調達費用	698	386
(うち預金利息)	548	268
役務取引等費用	637	675
その他業務費用	2,487	2,214
営業経費	8,134	7,970
その他経常費用	1,716	2,396
経常利益	4,685	3,551
特別利益	0	2
固定資産処分益	0	2
特別損失	19	48
固定資産処分損	18	3
減損損失	0	44
税金等調整前四半期純利益	4,666	3,505
法人税、住民税及び事業税	1,845	1,990
法人税等調整額	158	△543
法人税等合計	2,004	1,447
少数株主損益調整前四半期純利益	2,662	2,057
少数株主利益	163	169
四半期純利益	2,498	1,887

四半期連結包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,662	2,057
その他の包括利益	△3,610	△3,141
その他有価証券評価差額金	△3,623	△3,183
繰延ヘッジ損益	13	41
四半期包括利益	△948	△1,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,102	△1,276
少数株主に係る四半期包括利益	154	192



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

## 4. 平成26年3月期第1四半期 決算説明資料

## (1) 平成26年3月期第1四半期損益の概況(単体)

- コア業務純益は、前年同期と同水準の4,717百万円となりました。資金運用利回りの低下により資金利益は減少しましたが、預り資産販売収入などが貢献し役員取引等利益は増加しました。
- 経常利益は、貸倒引当金の算出方法を、より保守的に見直したことから、不良債権処理額が増加し、前年同期比1,216百万円減少の3,036百万円となりました。
- 税引後の四半期純利益は、前年同期比640百万円減少の1,753百万円となりました。
- なお、業績予想に対する進捗率については、コア業務純益、経常利益、税引後利益共に順調に推移しております。

(単位：百万円)

	平成26年3月期 第1四半期累計 (3ヵ月間) (A)	平成25年3月期 第1四半期累計 (3ヵ月間) (B)	前年同期比 (A) - (B)	平成26年3月期 第2四半期業績予想値 (6ヵ月間)
経常収益	14,492	15,494	△1,002	26,000
業務粗利益	12,081	12,743	△662	(55.7%)
資金利益	10,576	10,709	△133	
役員取引等利益	1,536	1,387	149	
その他業務利益または損失	△31	646	△677	
うち債券関係損益	△96	552	△648	
経費(△)	7,459	7,453	6	
人件費(△)	3,846	3,904	△58	
物件費(△)	3,231	3,156	75	
税金(△)	381	393	△12	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	4,621	5,289	△668	
コア業務純益	4,717	4,736	△19	8,000
一般貸倒引当金繰入額①(△)	10	—	10	(59.0%)
業務純益	4,610	5,289	△679	
臨時損益	△1,574	△1,037	△537	
うち株式等損益	289	△1,428	1,717	
うち不良債権処理額②(△)	2,287	159	2,128	
うち償却債権取立益③	201	269	△68	
うち貸倒引当金戻入益④	—	271	△271	
経常利益	3,036	4,252	△1,216	5,500
特別損益	△46	△19	△27	(55.2%)
税引前四半期純利益	2,990	4,233	△1,243	
法人税、住民税及び事業税(△)	1,761	1,773	△12	
法人税等調整額(△)	△524	66	△590	
四半期(中間)純利益	1,753	2,393	△640	3,000
				(58.4%)
実質不良債権処理額①+②-③-④	2,097	△381	2,478	

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成26年3月期第2四半期業績予想値は、平成25年5月10日に公表した予想値であります。

3. 業績予想値の下部( )内の数値は、業績予想値に対する進捗率であります。

## (2) 金融再生法開示債権 (単体)

- 金融再生法ベースの開示債権は 824 億円と前年同期から 99 億円増加しました。  
また、総与信に占める割合は前年同期比 0.37%上昇し、3.54%となりました。

	(単位：億円)		(単位：億円)	
	平成 25 年 6 月末	平成 24 年 6 月末	平成 25 年 3 月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	140	162	143	
危険債権	662	498	662	
要管理債権	20	64	7	
合計	824	725	813	
総与信に占める割合	3.54%	3.17%	3.44%	

(注) 平成 25 年 6 月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第 4 条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。また、同計数は当行の定める自己査定基準に基づく平成 25 年 6 月末時点の資産査定の結果による債務者区分を基に集計しております。なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

- ※債務者区分との関係 : 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)  
危険債権 (破綻懸念先の債権)  
要管理債権 (要注意先のうち、元本または利息の支払が3ヵ月以上延滞しているか、または貸出条件を緩和している債権)

## (3) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

- 時価のある有価証券の評価差額は、前年同期比 84 億円増加し、421 億円の含み益となっております。

	(単位：億円)				(単位：億円)			
	平成 25 年 6 月末		平成 24 年 6 月末		平成 25 年 3 月末			
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	9,272	421	8,979	337	8,807	472	483	11
株式	722	324	557	149	675	278	286	7
債券	7,668	105	7,808	182	7,365	184	186	1
その他	881	△8	614	6	766	8	11	2

(注) 1. 四半期末の「評価差額」および「含み損益」は、当四半期末の帳簿価額 (償却原価法適用後、減損処理後) と時価との差額を計上しております。

2. 有価証券のほか、信託受益権等を含めております。  
3. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位：億円)				(単位：億円)			
	平成 25 年 6 月末		平成 24 年 6 月末		平成 25 年 3 月末			
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	4	0	34	0	5	0	0	—

## (4) 預金・貸出金等の残高(単体、未残)

- 預金(譲渡性預金含む)は、個人預金および一般法人預金が順調に推移し、前年同期比 441 億円増加の 3兆1,931 億円となりました。
- 貸出金は、事業性貸出金および消費者ローンが増加し、前年同期比 474 億円増加の 2兆3,019 億円となりました。

## (1) 預金・貸出金の残高

(単位:億円)

(単位:億円)

	平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末
預金	30,385	29,698	30,165
譲渡性預金	1,546	1,791	1,480
預金、譲渡性預金合計	31,931	31,490	31,646
うち個人預金	21,299	20,975	20,933
貸出金	23,019	22,545	23,319
うち消費者ローン	5,734	5,492	5,704
うち住宅ローン	5,501	5,316	5,489

## (2) 個人預り資産

(単位:億円)

(単位:億円)

	平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末
国債	851	933	874
投資信託	1,035	939	1,069
保険窓販	1,636	1,453	1,616

## (5) 自己資本比率(国内基準)

平成25年6月末の自己資本比率(国内基準)については、現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定です。